

事業報告シート

事業分野	もの・まち・くらし・その他	登録日	平成27年10月3日		
事業名称	第40回（一社）北海道建築士会全道大会（紋別大会）C分科会				
開催日時	平成27年9月19日（土）12:30～14:30	紋別市幸町3丁目1番8号 紋別市文化会館1F多目的ホール			
ふりがな	ほっかいどうけんちくしかい せいねんいんかい				
活動団体名	北海道建築士会 青年委員会				
事業の目的	近年、社会問題となっている空き家問題。市民生活の安心・安全のめんから不安視されています。ここ紋別市も少子高齢化等により人口減少傾向にあることから、さらに空き家は増加していくものと思います。C分科会では、この空き家問題に視点をあて、空き家問題の現状や課題、そしてその対策や施策を学ぶとともに、地域コミュニティの活性化に繋がる空き家の有効な利活用方法を模索し建築士として何ができるのかを考える。				
主な事業内容	<p>まちなかで考える 地域コミュニティと空き家 ～建築士としてできること～</p> <p>①空き家問題の現状説明 紋別市建設部建築課都市計画係 阿部隼士係長による講演 ワークショップ</p> <p>①空き家問題をテーマに、現状の問題を学び、その当事者の立場となって具体的な問題を掘り下げて、どのような問題、考えがあるかを抽出し、建築士の立場としてどのように関わられるかを提案する。</p> <p>②紋別市中心商店街に放置されてある老朽化した空き店舗ビルをモデルに、その地域のコミュニティを活性化させる目的でどのような施設が必要かを提案する。</p> <p>具体案の成果品 8テーブル分のA1記入シート</p> <p>1 建築士の立場としての係り方 2 リノベーション用途とその概要説明書</p>				
事業収支					
参加者	本部青年委員及び事務局	青年建築士			合計
	11名	77名			88名
建築士の関り	空き家問題の現状を学び、空き家問題に対して建築士の立場として今後、どのように関わられるか、を考えた。				
今後の検討課題	<input type="checkbox"/> A1成果品シートを使用して発表を行ったが、会場全体には文字が小さく見えづらかった。 <input type="checkbox"/> 今回、考えた提案を今後どのようにより深めていくかを考えなくてはいけないと思います。 <input type="checkbox"/> 空き家問題に対して、青年の認知度を知るために、アンケート用紙等があれば現状をより深く集約できたと思う。				
連携・協力組織等					
活動状況写真					
					
■ 会場全景			■ ワークショップの様子		
ふりがな	ほっかいどうけんちくしかい せいねんいんちよう はりがやたくみ	TEL/FAX	011-251-6076 / 011-222-0924		
事業代表者氏名	北海道建築士会 青年委員長 針ヶ谷拓己	E-mail	info@h-ab.com		
団体所在地	北海道札幌市中央区大通西5丁目11番地	URL	http://h-ab.com/committee/seinen/		